

- ・地域農業は、小麦、てんさい、ばれいしょ、豆類の畑作4品目にたまねぎ等の野菜類を作付けする畑作経営と牧草等を自給する酪農経営からなる。
- ・農地の区画形状は小さくいびつで傾斜もあり、また排水不良なども生じていることから、効率的な農作業を行うには大きな妨げ。
- ・本事業で、農地の区画形状を拡大かつ整形し、改良するとともに、分散した農地を集団化する区画整理と農地造成を一体的に行い、生産性の高い農地基盤を形成して、担い手農家の経営規模の拡大を推進。
- ・結果、農家経営が安定し、効率的な大規模機械化作業体系等の生産体制が図られ、農業の高付加価値化への取り組みなど、TPP、EPAに対応した地域農業が形成される。

整備前

整備後

整備すると...

圃場中央が排水路で分断

圃場①

圃場②

排水路

圃場①

排水路

【農家さんの声】

- ・工事前は、傾斜が急で、ばれいしょ収穫時に機械がなかなか上がらない事がありましたが、傾斜が緩やかになったので労働時間が軽減されました。
- ・降雨後の土砂流亡や低みの滞水が解消されました。

JAつべつの取り組み

JAつべつの取り組み

JAつべつは町内2か所(JAと相生)にRTK-GNSS基地局を設置。



町内で高精度位置補正情報の提供を受けられない農地の解消を図り、町内一円においてガイダンスシステム・自動操舵が利用可能となるシステムの構築を目的とした試験を実施。

【農家さんの声】

- ・播種、移植の直進性が高く、その後の作業が行いやすい。
- ・作業時の負担が大きく減った。

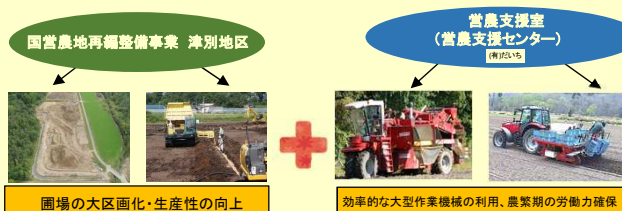
【整備後】

圃場の傾斜の解消により土砂流亡や滞水はなし。トラクターの速度も速くなった。

【整備前】

土砂流亡や低みでの滞水。

本事業と営農支援室(営農支援センター)設立による相乗効果



本事業との相乗効果により、生産者の労働負担の軽減と適切な輪作体系の維持が図られる

可変施肥試験



memo

左のモニターは、施肥した場所が分かるGPSとセンサーのデータ。右のモニターは、タンク内の肥料の残量と散布量の調整ができる。

津別町では、携帯不感エリアでIT制御による可変施肥試験を行っている。車内のモニターから作物の生育状況、肥料の施肥量、トラクターの位置、施肥した軌跡が確認できる。自動操舵・IT制御による可変施肥により、ほとんどハンドル操作をせず、後ろの機械やモニターを見ながら作業できる。

地区の概要

事業工期 平成27年度～令和6年度

受益面積 2,433ha

主要工事 区画整理 2,425ha

開 畑 8ha

主要作物 小麦、てんさい、ばれいしょ、豆類(大豆等)、野菜類(たまねぎ等)、飼料作物(牧草等)

津別地区での特色ある取り組み

ぎゅぎゅ〜とテラス

〜来て観て食べて楽しむ牛屋さん〜
牧場で育てた肉牛の牛肉加工品販売やカフェを通じて地域と農業の魅力をお店、SNS等でも発信。

町内5戸の農家で黒毛和牛「流水和牛」を生産している。

↑お店の中の様子

6次化で地域元気に
↑2018年に「女性・高齢者チャレンジ表彰事業」にて、最優秀賞を獲得

L'teやさいCafe'

息子さんに「お母さんが作る野菜は美味しい」と言ってもらい「食」の大切さを実感し、野菜作りを始め、その楽しさを知りもっと多くの人に食べてもらいたいと思い、直売所を開始。



↑直売所の中の様子



口コミから活動が広がり、地元のホテルや飲食店と契約、さらに全道各地に講演会をしに全道各地を駆け回っているスーパーお母さん